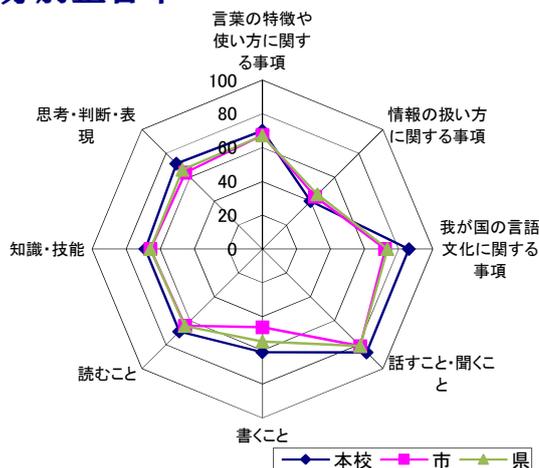


宇都宮市立錦小学校 第4学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	70.0	67.4	67.1
	情報の扱い方に関する事項	40.0	43.8	45.7
	我が国の言語文化に関する事項	86.0	72.1	73.4
	話すこと・聞くこと	86.5	81.2	81.2
	書くこと	61.0	46.2	54.9
	読むこと	69.0	64.3	64.5
観点	知識・技能	68.7	65.7	65.7
	思考・判断・表現	71.4	64.0	66.3



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の平均正答率よりもやや高い。 ○漢字の読み書きに関する事項の正答率は、漢字によってばらつきがみられるものの概ね県や市の平均を上回っている。 ●主語と述語に関する事項の設問の正答率は62.0%で、県の正答率より5.5ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きについては新出漢字だけでなく既習の漢字も繰り返し復習することで、定着を図る。 文章の構成を理解できるように、物語文の学習において、主語と述語を確かめるようにするとともに、作文指導時で主語と述語をしっかりと意識して書くように指導する。
情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の平均正答率よりも低い。 ●国語辞典の使い方に関する問題の正答率は40.0%で、県の正答率を5.7ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 分からない語句や漢字については、国語辞典や漢字辞典を活用するよう指導する。繰り返し調べることにより、辞典で調べることの習慣化を図り、使い方を定着させる。
我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の平均正答率よりも高い。 ○漢字のへんとつくりを正しく組み合わせる問題の正答率は86.0%で、県の正答率を12.6ポイント上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字のへんやつくりについては、へんとつくりを学習する单元だけでなく、他の单元で新出漢字を学習する際にも確認し、繰り返し復習することで、さらなる定着を図る。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の平均正答率よりも高い。 ○参加者の発言の内容に着目して、司会者の発言に適するものを選ぶ問題の正答率は84.0%で、県の正答率を7.8ポイント上回っている。 ○自分の考えを理由を挙げながらまとめる設問の正答率は92.0%で、県の正答率を8.7ポイント上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの機会を増やしたり、多くの児童に司会者の経験をさせたりして、話すこと・聞くことのスキルを高められるよう指導する。 話し合い活動において、発言者の意図を考えて聞き、他者の考えと比べながら自分の考えをまとめられるよう指導する。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の平均正答率を大きく上回っている。 ○自分の考えを明確にして文章を書くことができるかを問う設問の正答率は66.0%で、県の正答率を5.9ポイント上回っている。 ●段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書く設問は、県の正答率より7.1ポイント上回っているものの正答率が50.0%と課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科および総合的な学習の時間、学校行事の振り返りなどで、自分の考えや感想を書く機会を設け、自分の考えを明確にして文章化できるようにする。 文字数や段落構成を指定した文章を書く活動を意識的に取り入れる。 自分の考えを文章で表現したり書いた文章を友達と互いに読み合ったりする活動を通して、児童同士が助言し合い、よりよい文章を書こうとする意欲を高める。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、県や市の平均正答率よりもやや高い。 ○登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる設問の正答率は96.0%で、県の正答率よりも5.1ポイント上回っている。 ●場面の様子について、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる設問の正答率は42.0%で、県の正答率を5.2ポイント上回っているが課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語文の学習では、場面の様子や登場人物の気持ちについて叙述を基に考えを深め合う時間を十分とり、読み取りを丁寧に行う。 読書を推奨するとともに、物語や説明文の指導の際には、段落の関係性にも注意して指導を行う。